

令和7年度 第2回在宅医療・介護連携に関する会議

市川市認知症初期集中支援チーム 令和6年度 活動実績

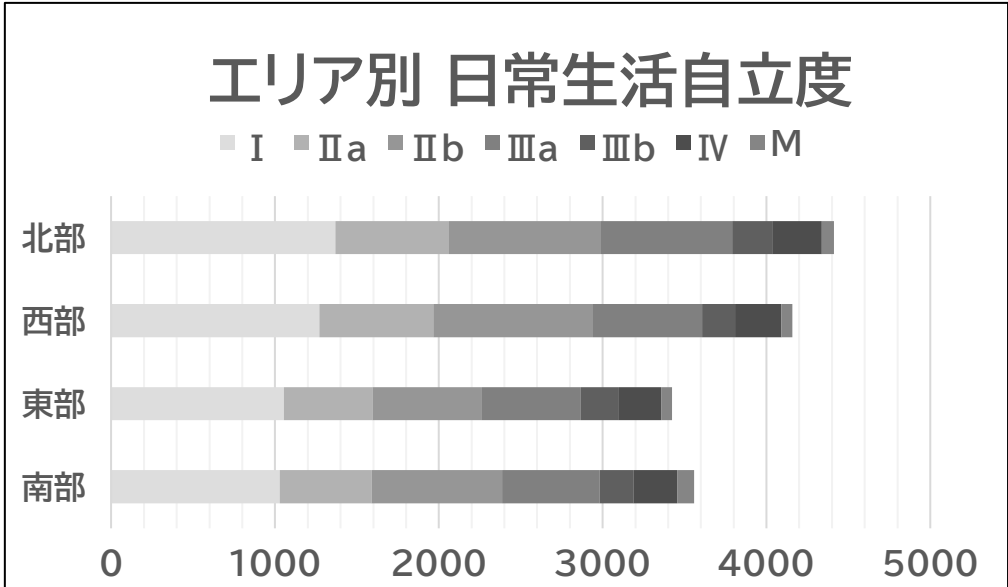
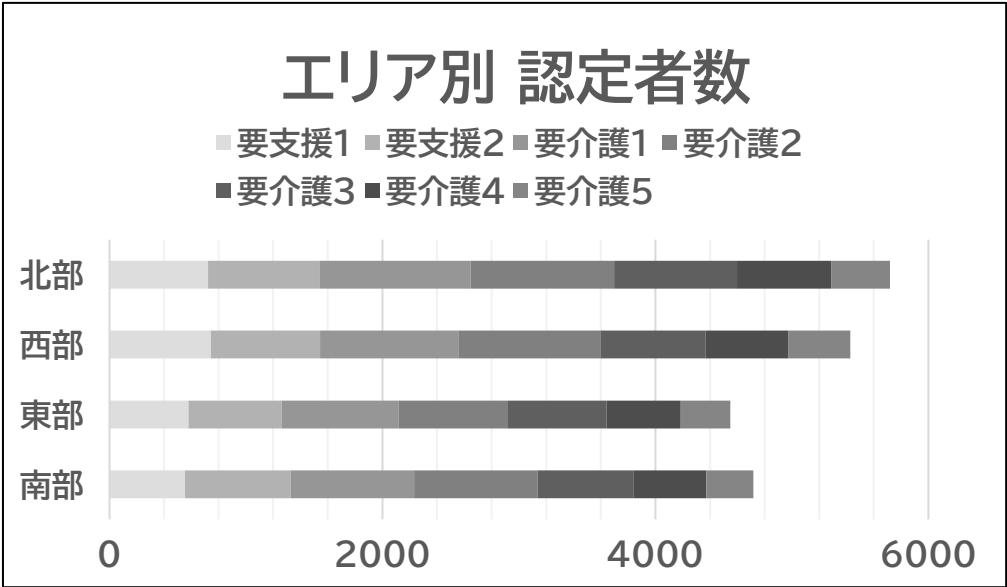
令和7年11月11日(火)

市川市 福祉部 地域包括支援課

市川市認知症初期集中支援チーム活動の実際

【市川市の概要(令和7年3月31日現在)】 引用元:市川市住民基本台帳及び市川市介護保険システムより抽出

- 人 口：496,089人
- 65歳以上人口：106,515人（全人口に占める割合 21.47%）
市民の4.6人に1人が65歳以上
- 前期高齢者(65～74歳):44,819人（全人口に占める割合 9.03%）
- 後期高齢者(75歳以上):61,696人（全人口に占める割合 12.44%）
- 要介護・要支援認定者数：20,412人(要介護認定率19.2%)
認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa以上の方:10,831人



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

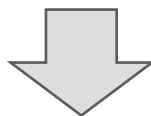
活動実績年次推移	R1	R2	R3	R4	R5	R6
支援対象者	28人	26人	23人	25人	29人	24人
訪問回数	316回	227回	127回	232回	196回	145回
一人当たり 平均訪問回数	11回	9回	6回	9回	7回	6回

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

【R6年度介入依頼内容の傾向】

33件のチーム介入依頼があり、うち9ケースはチーム対象外。

- ①認知症状がみられない、精神疾患が強く疑われる
- ②対応可能な家族の登場によりチーム介入取下げ



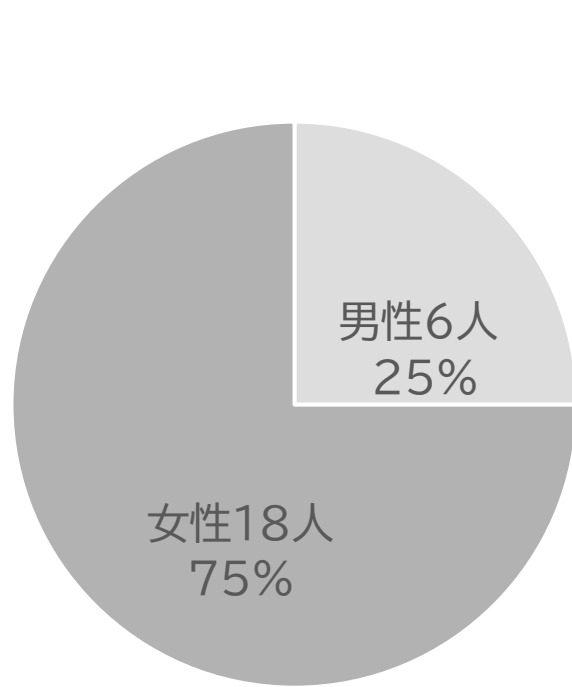
チームの対象になるのか、
初回訪問以降の判断になることも多かった

【令和6年度支援ケース概要】

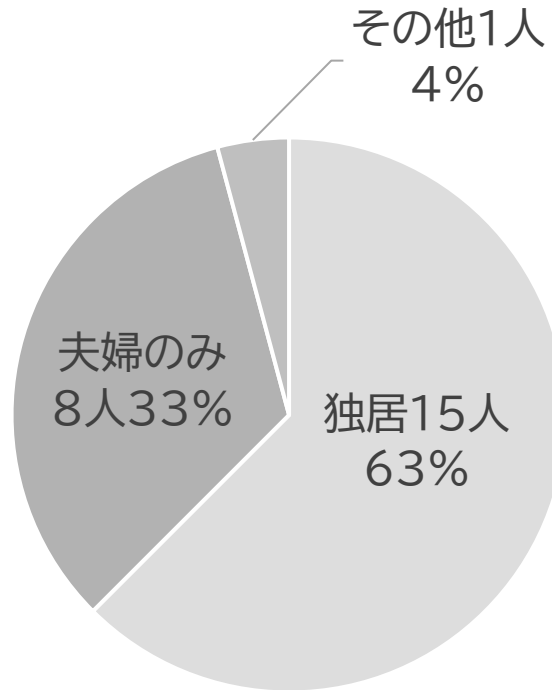
	タイトル	年齢	性別
1	金銭管理や身体的な面で生活に不安があるも、他者からの支援を拒否している90代夫婦	92	男性
2	金銭管理や身体的な面で生活に不安があるも、他者からの支援を拒否している90代夫婦	91	女性
3	受診日を忘れるなど認知機能の低下がみられるが、日常生活が自立している81歳独居女性	81	女性
4	キーパーソン不在で認知機能低下のため、金銭管理が困難な高齢独居女性(81歳)	81	女性
5	工事業者と契約したことを忘れるなど認知機能の低下が心配だが、支援を必要とせず、医療にも繋がっていない86歳の夫婦	86	男性
6	工事業者と契約したことを忘れるなど認知機能の低下が心配だが、支援を必要とせず、医療にも繋がっていない86歳の夫婦	86	女性
7	妄想や暴言等がひどく、家族が対応に苦慮している77歳女性	77	女性
8	認知機能低下が目立ち、自宅はゴミ屋敷状態であるが、病識がない独居男性(63歳)	63	男性
9	介護保険を申請したこと自体を忘れる等近時記憶が難しいが、日常生活は概ね自立している独居女性(90歳)	90	女性
10	認知機能が低下し、物が片付けられず、銀行の通帳や印鑑など大切なものをきちんと保管できない、ゴミ屋敷状態の独居女性(95歳)	95	女性
11	金銭管理を含め生活全般に課題があるが、本人の困り感がなく支援拒否がある独居女性(81歳)	81	女性
12	金銭管理や医療受診が困難だが、支援を拒否している独居女性	89	女性
13	認知機能の低下と歩行不安定があるが、本人の病識低く受診継続ができない女性(82歳)	82	女性
14	認知機能の低下から金銭管理ができず、清潔保持が不十分な独居男性。(76歳)	76	男性
15	アルツハイマー病と診断されるが以降受診しておらず、同じ話の繰り返しが顕著にみられる女性(73歳)	73	女性
16	介護負担によりストレスが強い娘に頼り生活している認知症の独居女性	81	女性
17	他者との交流希望あるが、どこにも繋がっておらず夫以外の関わりがない女性	77	女性
18	妻の介護をしているが、頑なさや拘りが強く妻の支援者の介入を拒否し孤立を深めている男性	79	男性
19	友人の支援を受け独居生活を送っているが、認知機能の低下あり医療受診を拒否している女性(92歳)	92	女性
20	自分で決めたルールやこだわりが強く、惣菜の空きパックや酒瓶を大量に溜め込んでいる独居男性(77歳)	77	男性
21	隣人、会社の事務員に内服管理、病院予約、通院支援などを依存している独居女性	85	女性
22	妄想や徘徊もあり家族負担が大きいが本人の拒否があり介護サービスに繋がらない女性(81歳)	81	女性
23	物忘れの自覚はあるが未受診で、社会的交流の少ない独居女性。	83	女性
24	医療受診や各種手続きに支援が必要だが、接触することが難しい独居女性。	89	女性

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

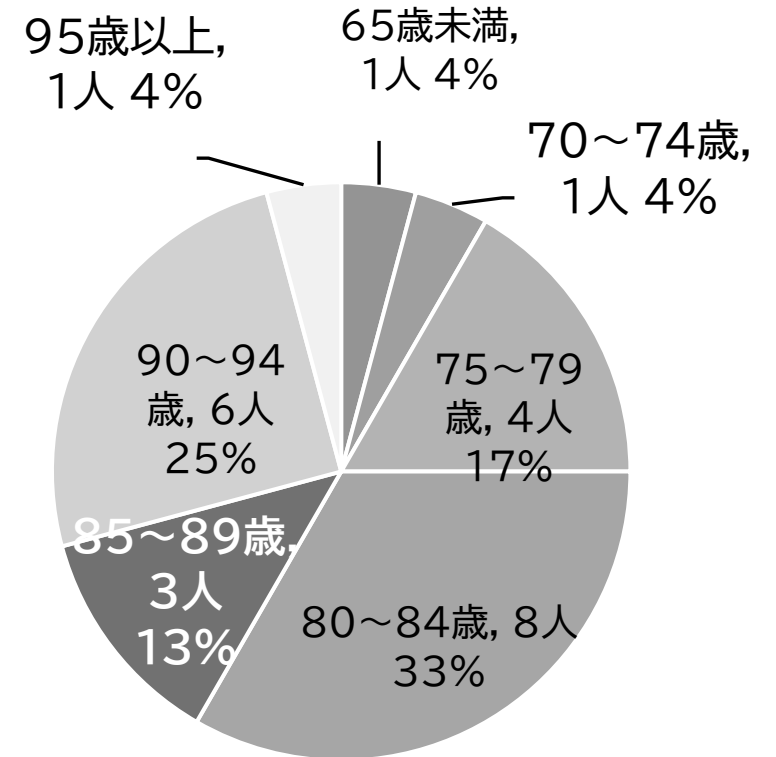
《対象者の特性》



◆性別 男女比1:3



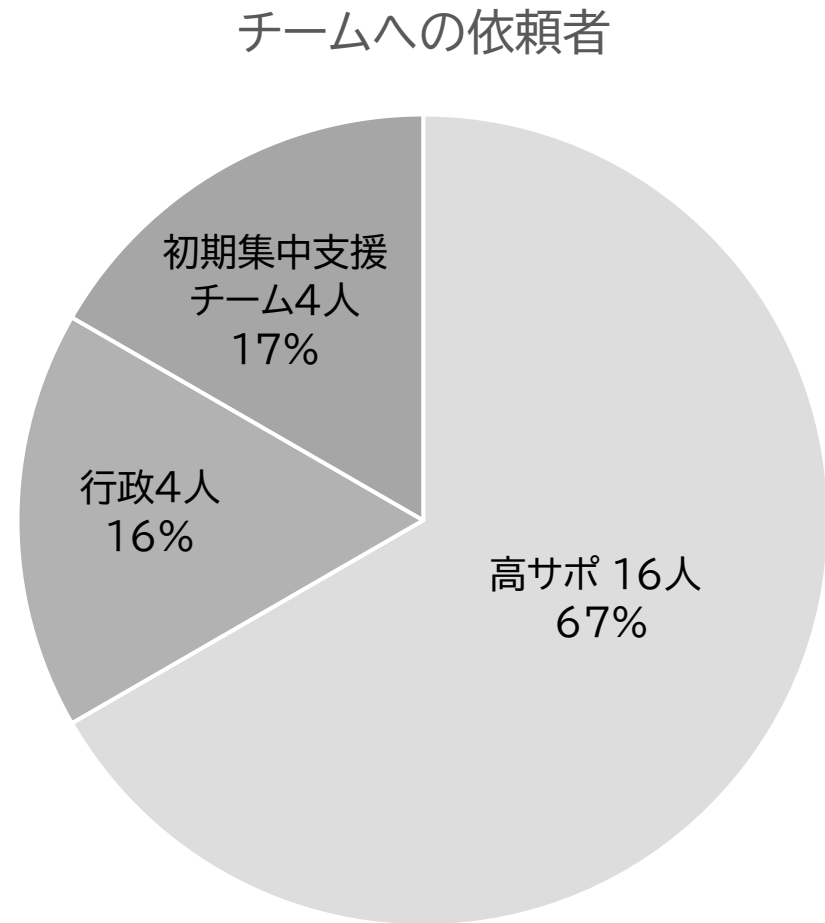
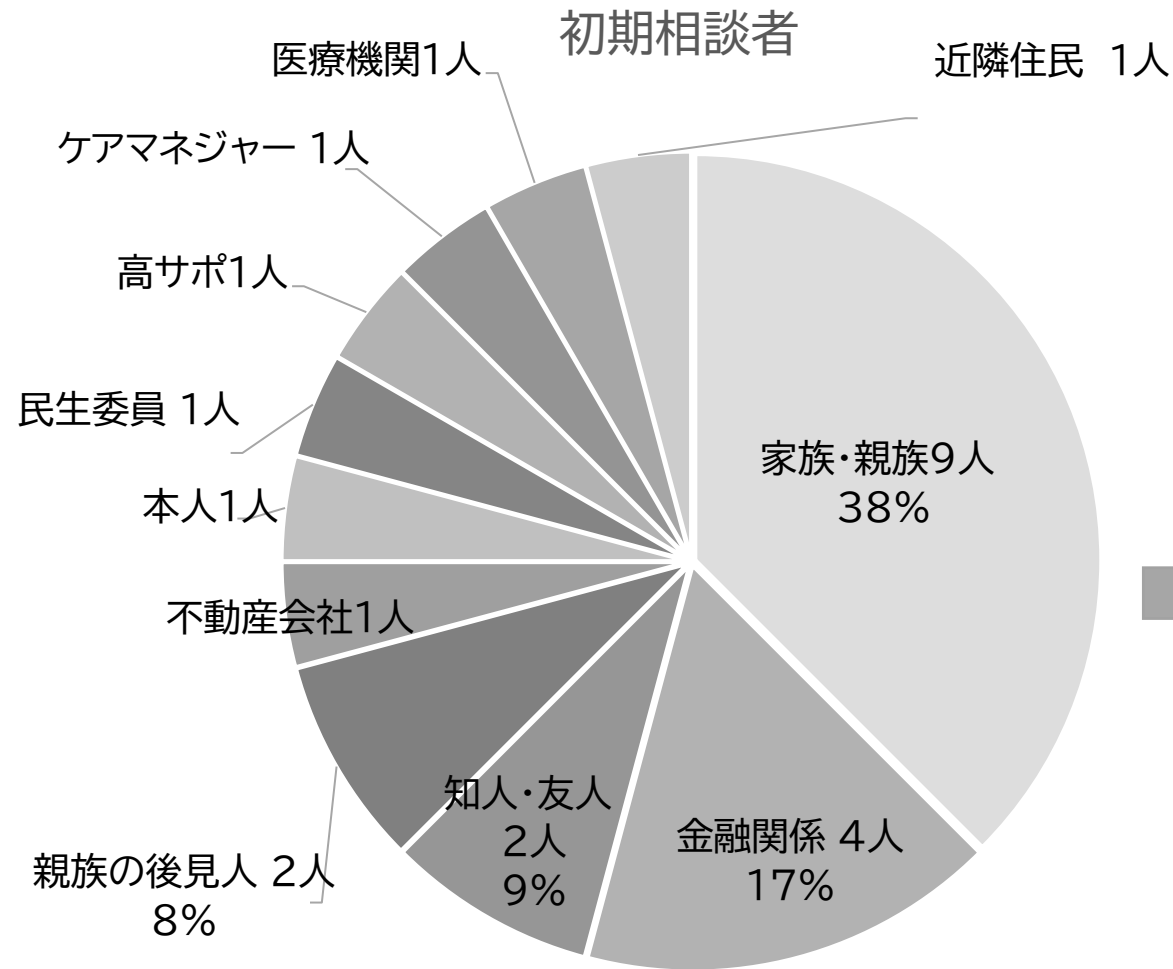
◆世帯構成



◆年齢

**75%が80歳以上
若年は4%**

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

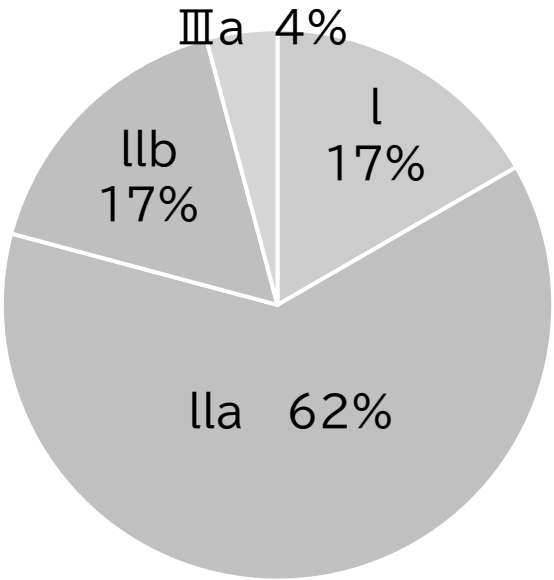


高齢者サポートセンターからの依頼が67%

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

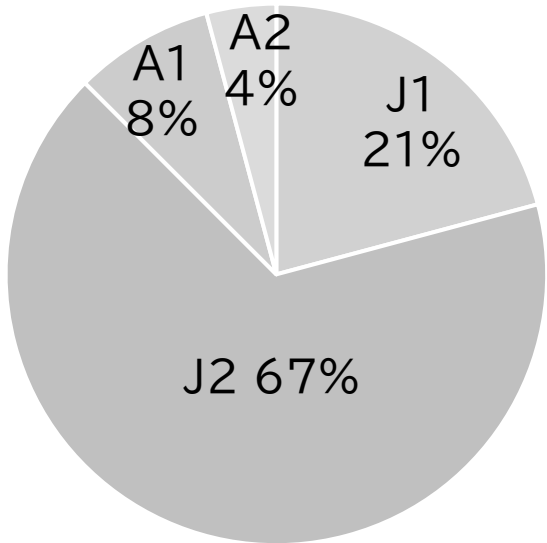
【認知症高齢者の日常生活自立度(介入時)】

	男性	女性	計
自立			0人
I	3人	1人	4人
IIa	3人	12人	15人
IIb	0人	4人	4人
IIIa	0人	1人	1人
計	6人	18人	24人



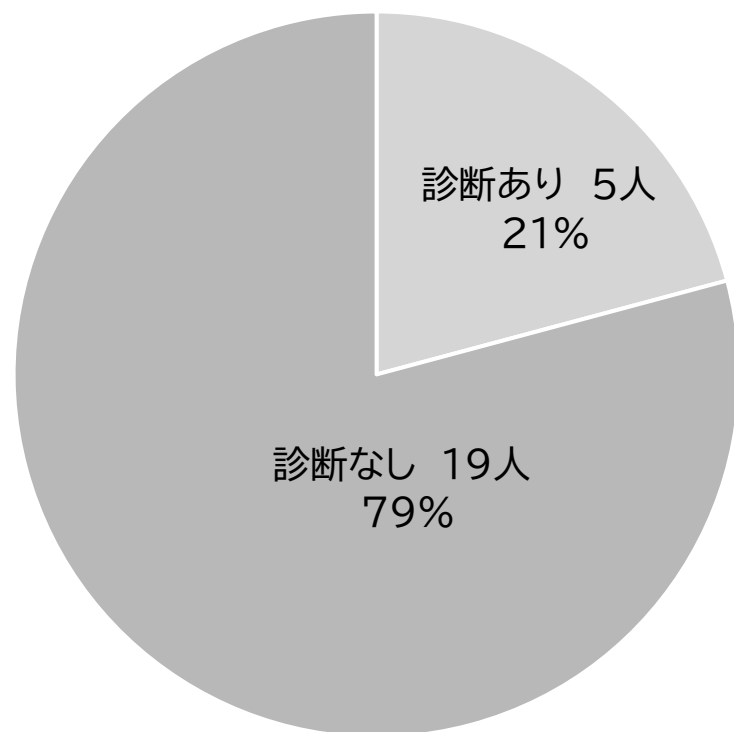
【障がい高齢者の日常生活自立度(介入時)】

	男性	女性	計
自立			0人
J1	3人	2人	5人
J2	3人	13人	16人
A1	0人	2人	2人
A2	0人	1人	1人
計	6人	18人	24人



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

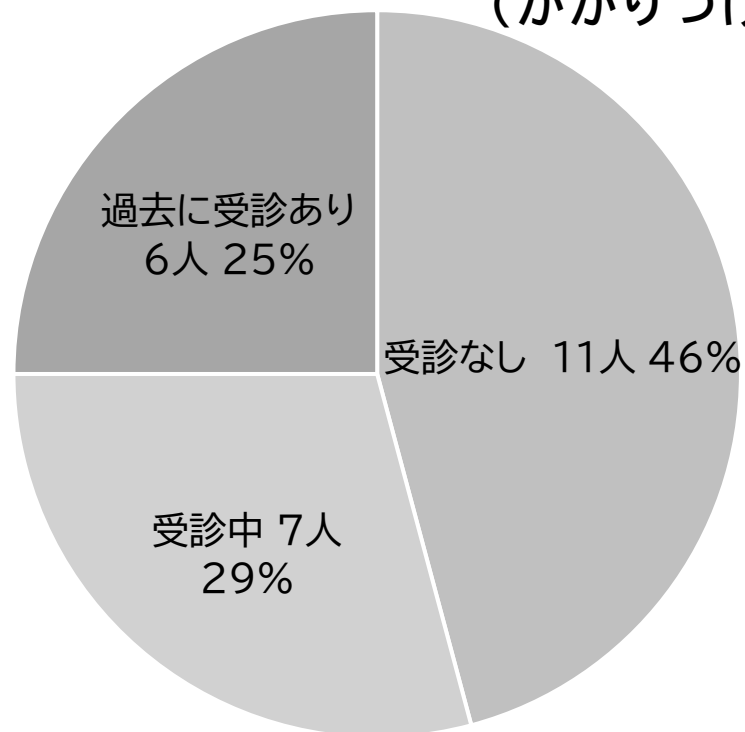
介入時における認知症の診断の有無



約80%が診断なし

介入時における受診の有無

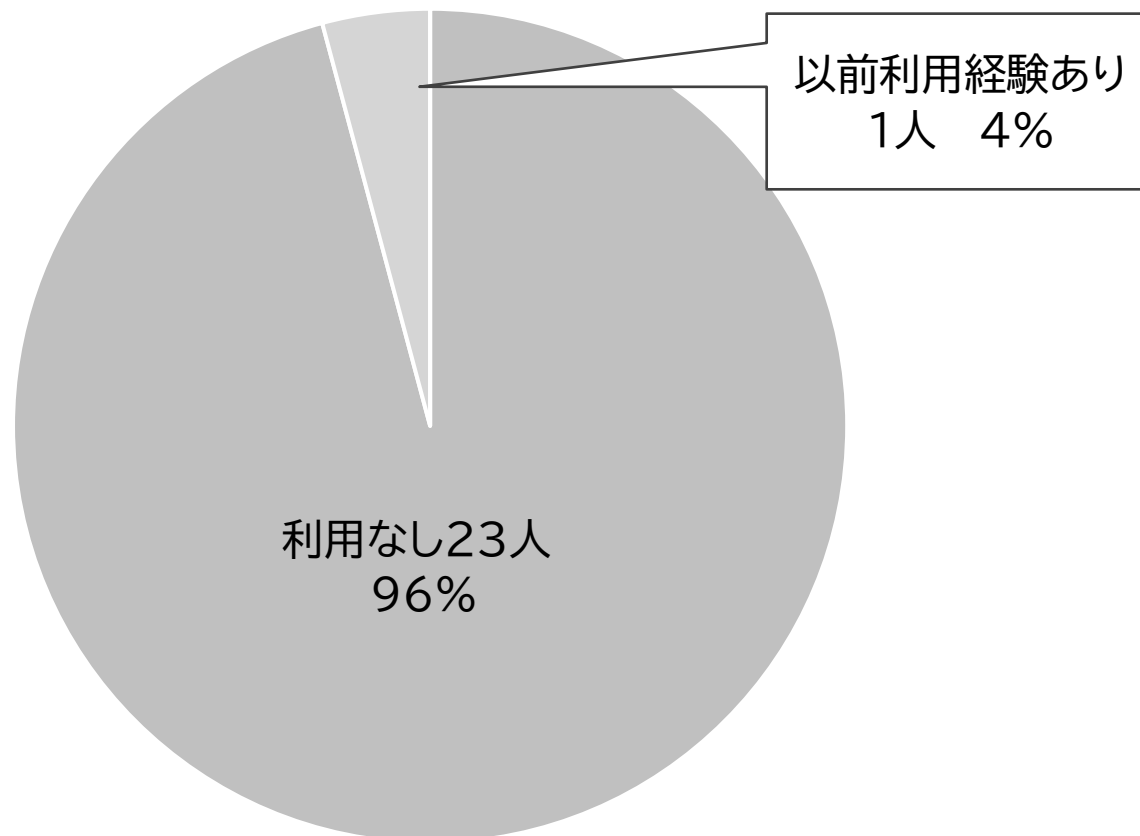
(かかりつけ医含む)



46%が受診なし

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

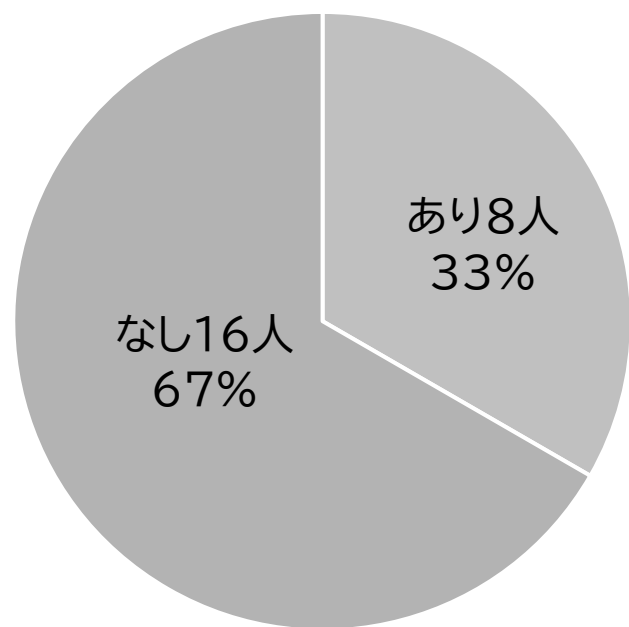
介入時 介護サービス利用の有無



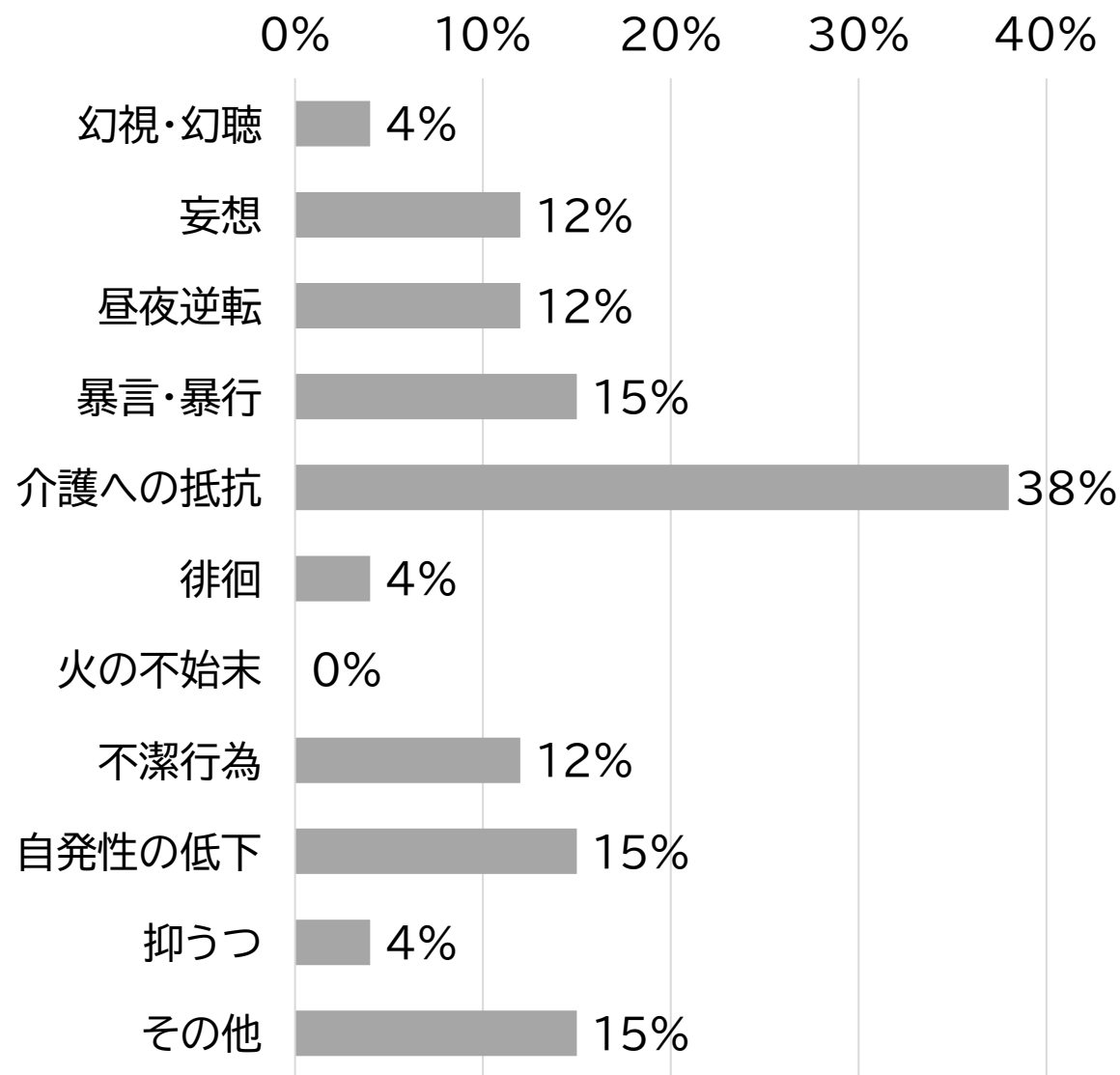
100%が利用なし

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

行動・心理症状



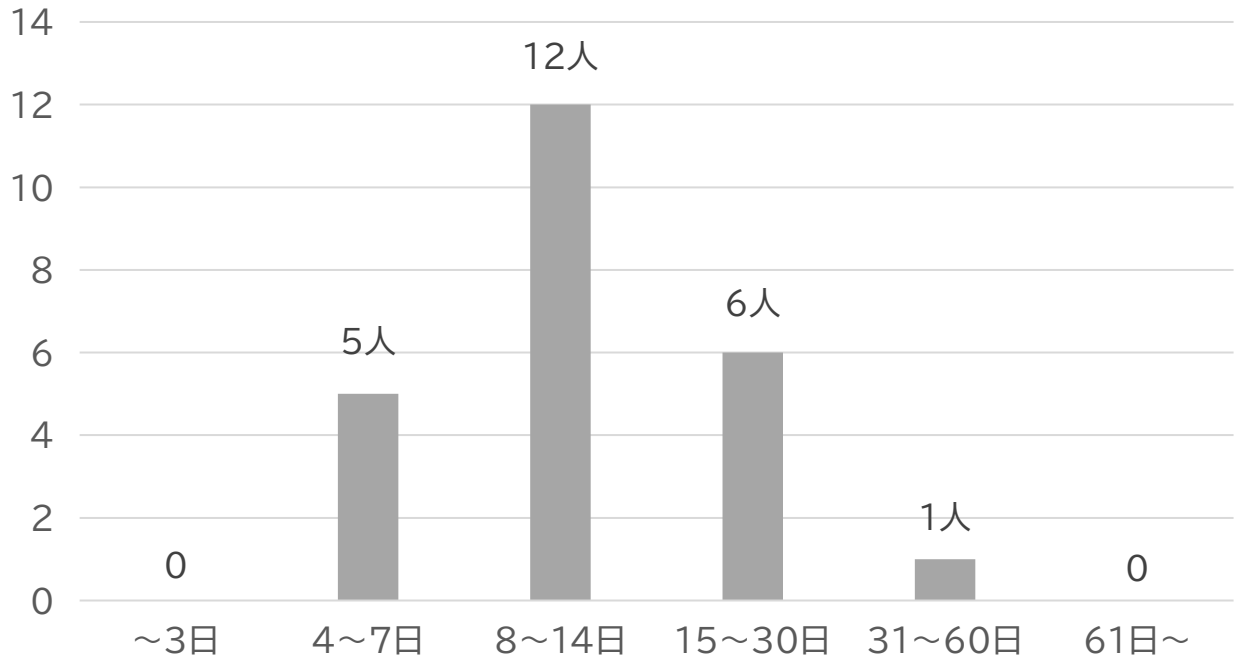
約30%にBPSD



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

初動期間 把握から初回訪問までの日数

平均日数	12.5日	
～3日	0	
4～7日	5	21%
8～14日	12	50%
15～30日	6	25%
31～60日	1	4%
61日～	0	



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

■依頼時の支援者の状況

- ・認知症の臨床診断を受けていない人(79%)
- ・介護への抵抗(拒否)を示す人が多い(38%)
- ・身体機能的には近所への外出が可能だが、
日常生活に支障が出始めたことにより、
家族や地域住民からの相談につながっている

市川市認知症初期集中支援チーム活動の実際

①訪問によるアセスメントの実施 初回訪問(必要時複数回)を行い、現在の状況及び課題をアセスメントする

様式11

市川市認知症初期集中支援チーム 支援計画表

管 理 No.

記入日

総合的な支援方針			
アセスメント領域と現在の状況 【箇条書きでの表現も可】	本人・家族の意欲・意向	解決すべき課題	課題に対する目標と具体策の提案
医療について			
介護サービスについて			
活動(運動・移動)について			
日常生活(家庭生活)について			
社会参加、対人関係、 コミュニケーションについて			
健康管理について			

DASC	DBD13	J-ZBL8
0	0	

市川市認知症初期集中支援チーム活動の実際

②チーム員会議(初回)の実施 チーム員医師・チーム員・高サポ他関係機関とともに、支援方針及びそれぞれの役割を確認

様式12

チーム員会議記録票

管 理 No.

☒ 初回 ☐ (0)回目 ☐ 終了

開催日時：

開始時刻： ～ 終了時刻： (0:00 時間)

会議参加者：【チーム員】吉岡医師、
【関係者(所属)】地域包括支援課 小松崎、高サポ

DASC-21	DBD13	認知症の診断	認知症診断医療機関
		無	
日常生活自立度	認知自立度	介護認定	
		FALSE	

課題抽出	
検討内容	
検討の結論 (援助方針)	主目標： 副目標： 1. 生活実態の把握 2. 医療の導入 3. 各種サービスの導入 4. 家族支援
役割	
残された課題	
次の開催予定・確認事項	次回：平成 年 月 日() : ~

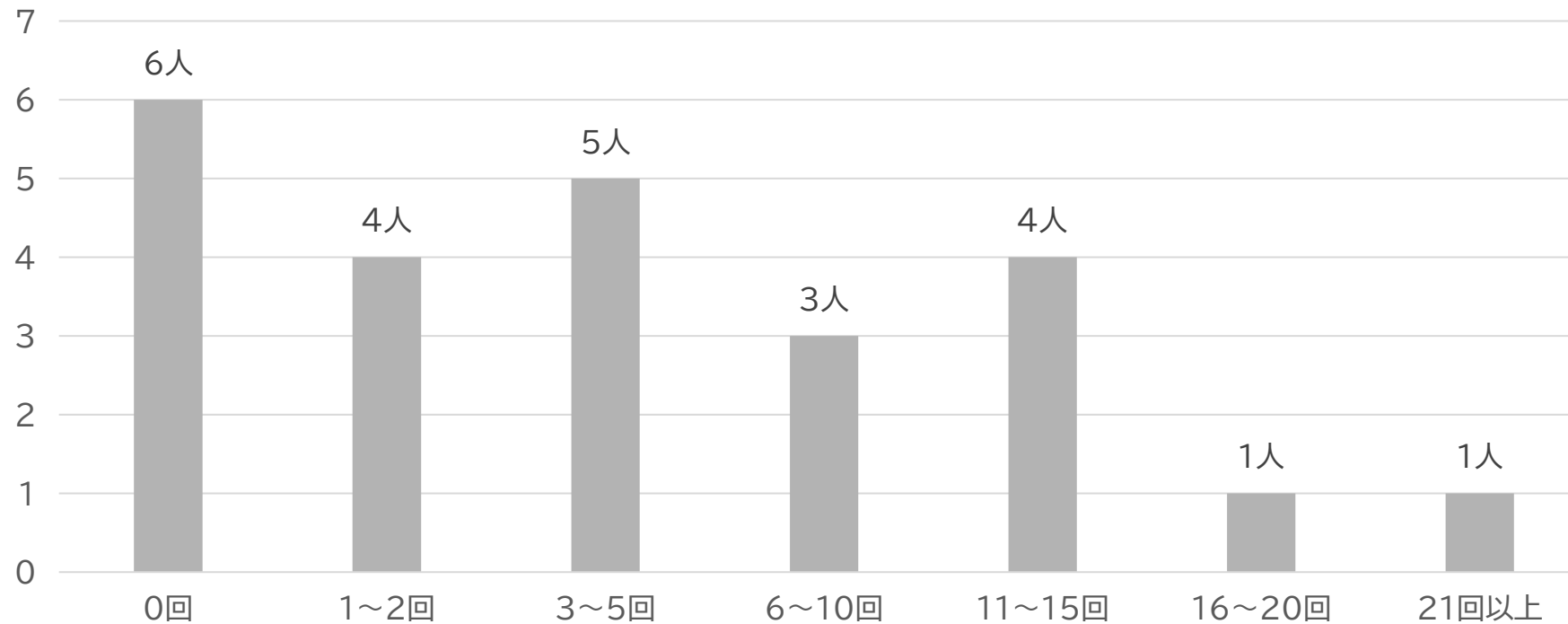
市川市認知症初期集中支援チーム活動の実際

③チーム員会議(終了時)の実施 チーム員医師・チーム員・高サポ他関係機関とともに、目標達成状況及び今後の方針を確認

様式14 チーム員会議記録票(終了時用)																												
管 理 No. 183		<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> () 回目 <input checked="" type="checkbox"/> 終了																										
開催日時:	令和7年 開始時刻: ~ 終了時刻: (時間)																											
会議参加者:	【チーム員】吉岡医師、 【関係者(所属)】地域包括支援課 樋口主幹、高サポ																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>DASC</th> <th>DBD13</th> <th colspan="2">認知症の診断</th> <th>認知症診断医療機関</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">開始時</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>54</td> <td>32</td> <td>日常生活自立度</td> <td>認知自立度</td> <td>介護認定</td> </tr> <tr> <td colspan="2">終了時</td> <td>Ⅱb</td> <td>A2</td> <td>Ⅱb</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>		DASC	DBD13	認知症の診断		認知症診断医療機関	開始時					54	32	日常生活自立度	認知自立度	介護認定	終了時		Ⅱb	A2	Ⅱb					
DASC	DBD13	認知症の診断		認知症診断医療機関																								
開始時																												
54	32	日常生活自立度	認知自立度	介護認定																								
終了時		Ⅱb	A2	Ⅱb																								
タイトル	#VALUE!																											
支援目標と具体策	主目標: 2 副目標: 3 1. 生活実態の把握 2. 医療の導入 3. 各種サービスの導入 4. 家族支援 吉岡医師: 訪問診療を行い(水曜日の午後)診察及び、介護サービス導入の必要性等を説明する高サポ: 長女へ訪問診療について説明し、手続き(事前のカルテ作成など)、費																											
終結の基準	<input type="checkbox"/> 医療サービスの導入達成 (達成日 年 月 日) <input type="checkbox"/> 概ね6か月の支援期間終了 <input type="checkbox"/> 介護サービスの導入達成 (契約日 年 月 日 利用開始日 年 月 日) <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> BPSDが軽快し、対応上の困難性が軽減																											
目標達成状況																												
今後の方針 (残された課題)																												
検討結果																												
終了日		モニタリングの予定	年 月 頃																									

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

チーム支援期間中の訪問回数



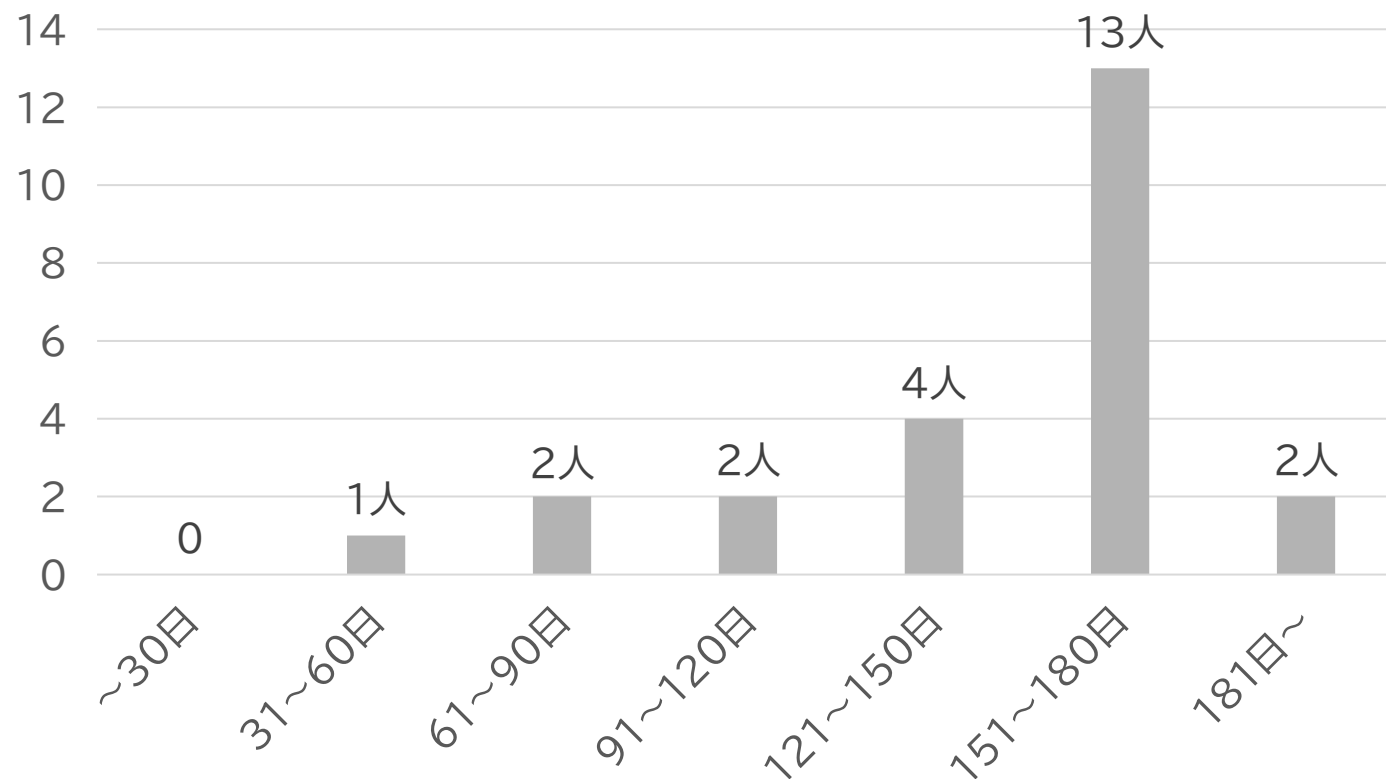
【訪問回数0回の内訳】

- ・4名は令和5年度にチームの実質支援を終了
- ・2名は本人の警戒心が強くチーム介入困難な為、面談・電話対応で家族支援をおこなった

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

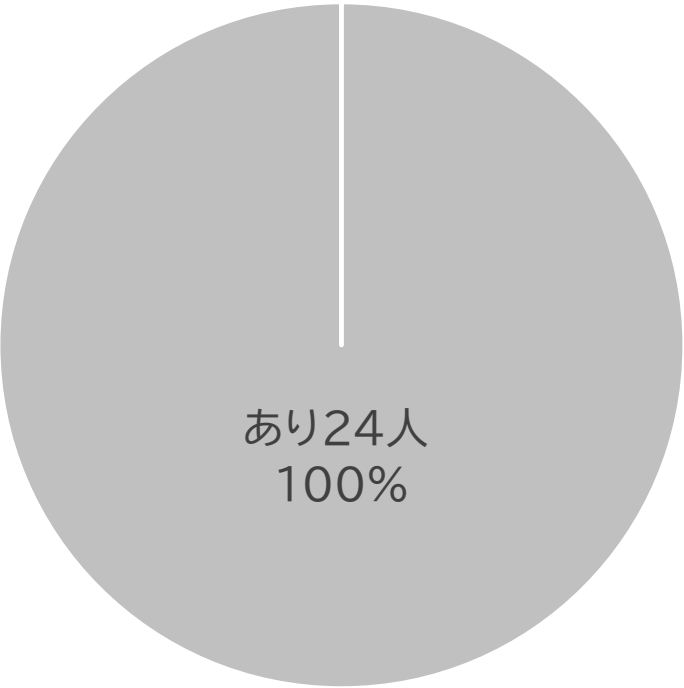
支援期間(初回訪問から引継ぎまでの日数)

平均日数	147.5日	
～30日	0	
31～60日	1	4%
61～90日	2	8%
91～120日	2	8%
121～150日	4	17%
151～180日	13	54%
181日～	2	8%



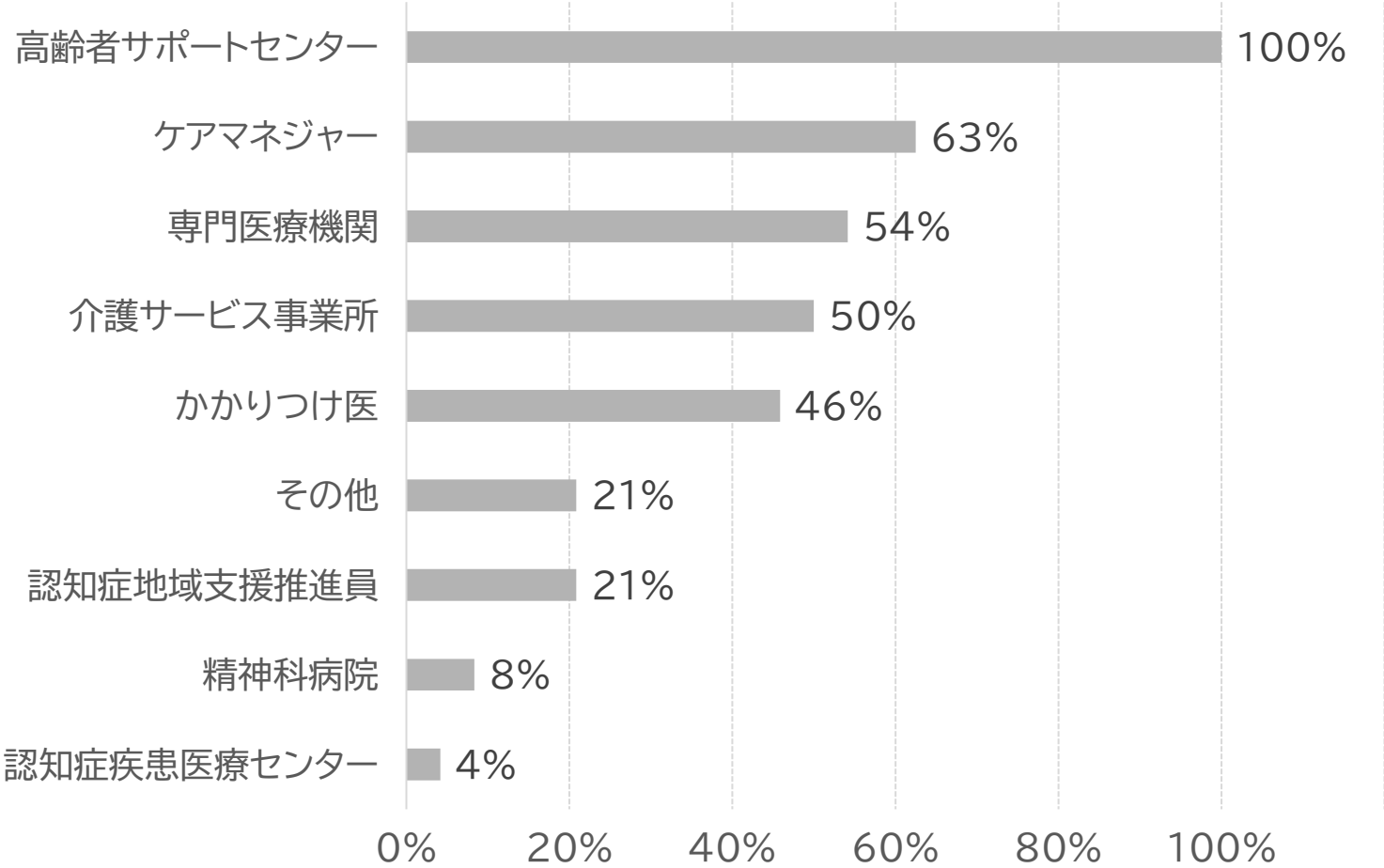
市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

支援中の他機関との連携



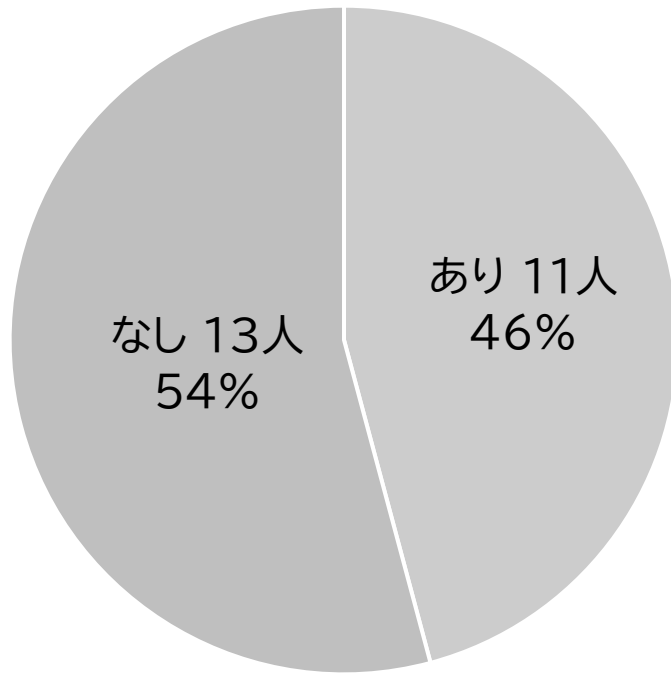
連携あり100%

連携先



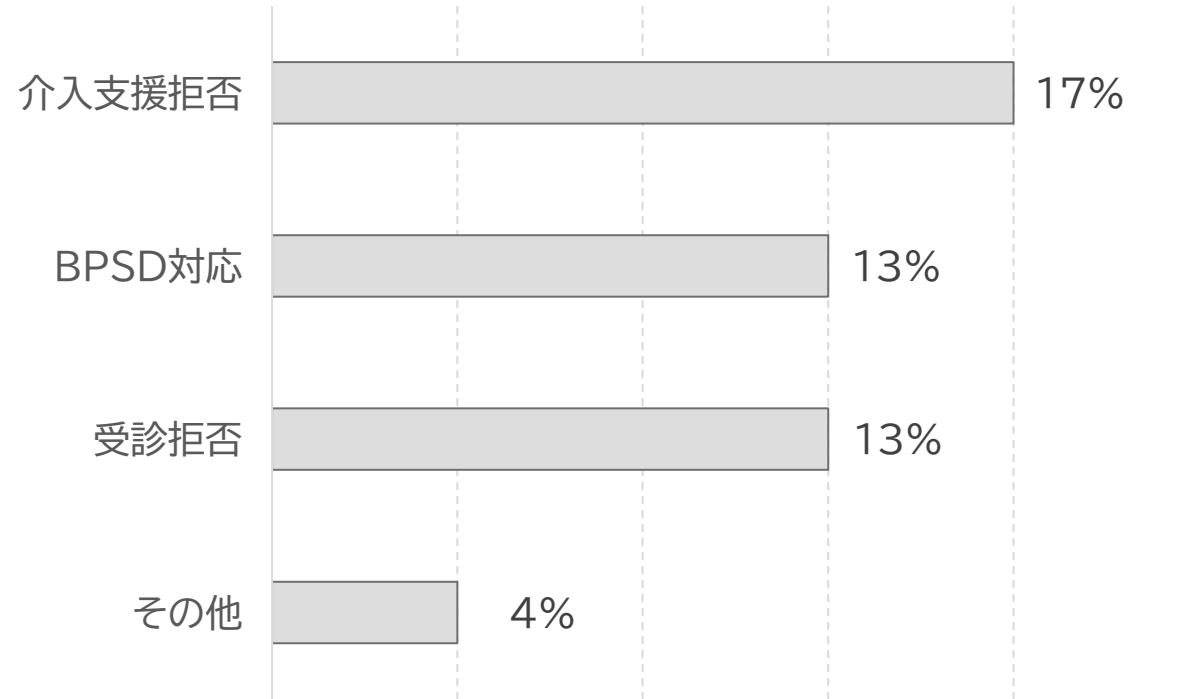
市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

困難事例



46%が困難事例

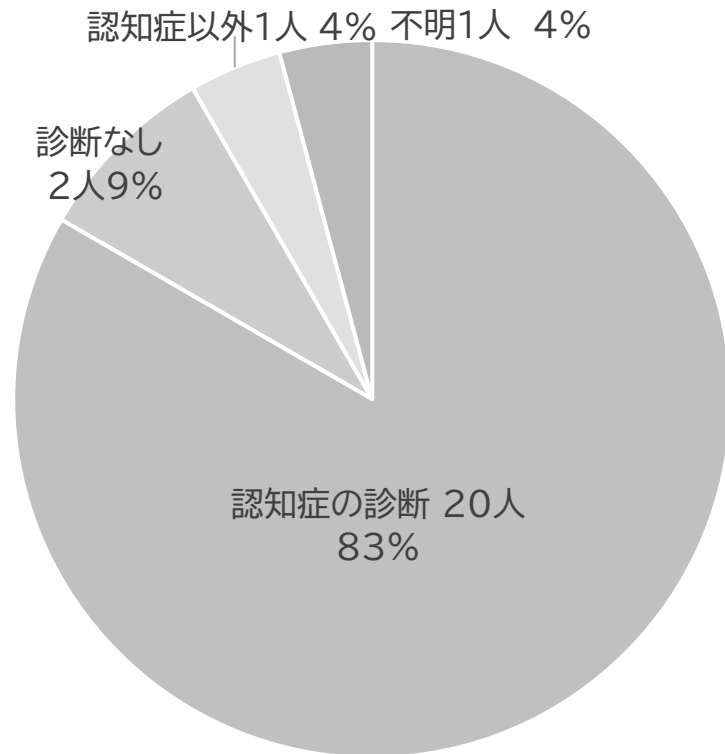
困難の理由



①拒否(介入支援拒否・受診拒否)
②BPSD

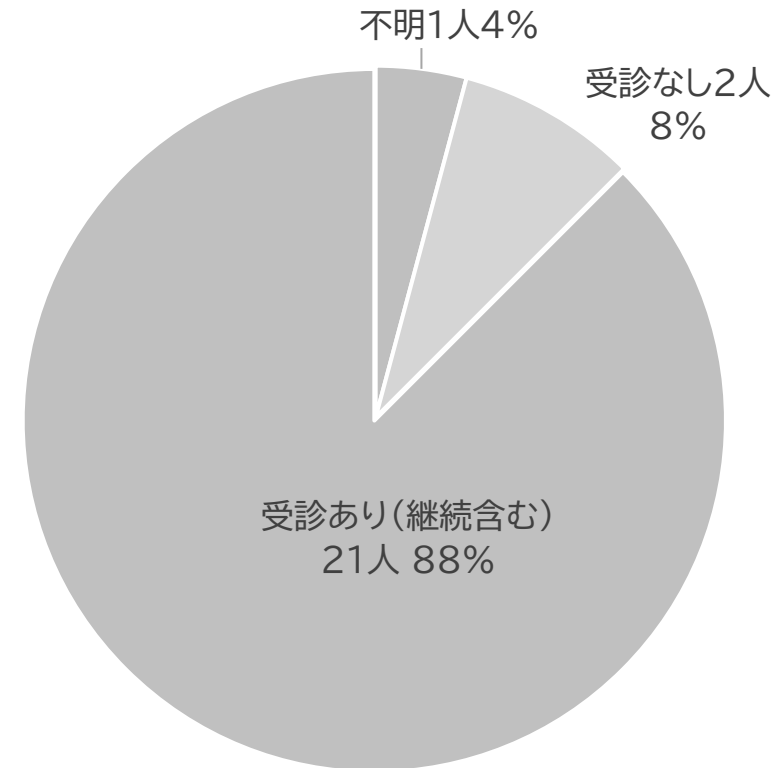
市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

支援終了時 認知症の診断



介入時79%診断なしから
支援終了時には83%診断ありに

支援終了時 認知症での受診

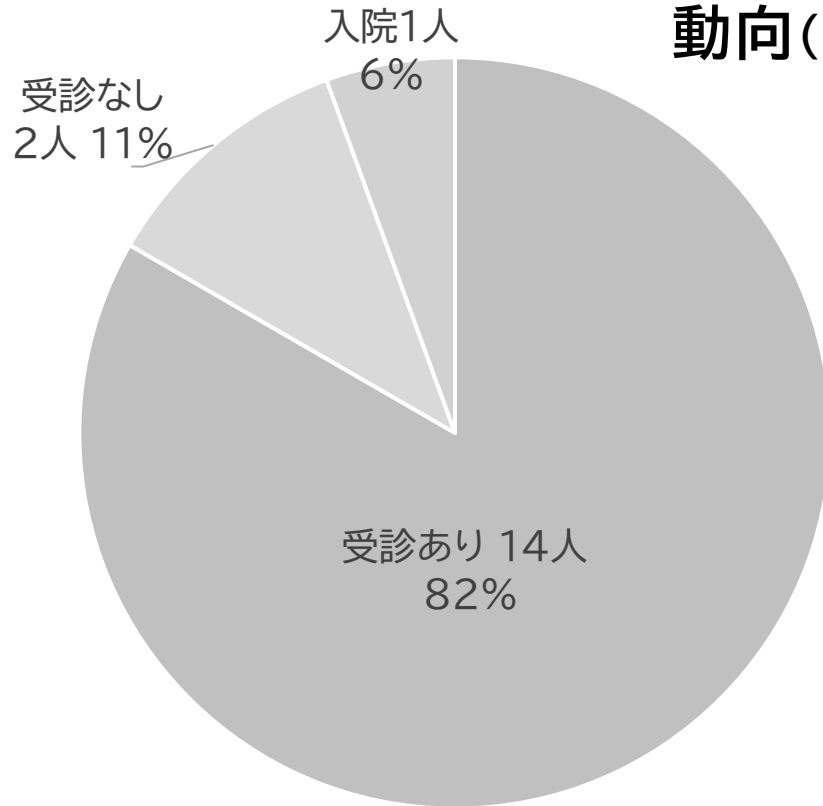


88%受診ありに

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

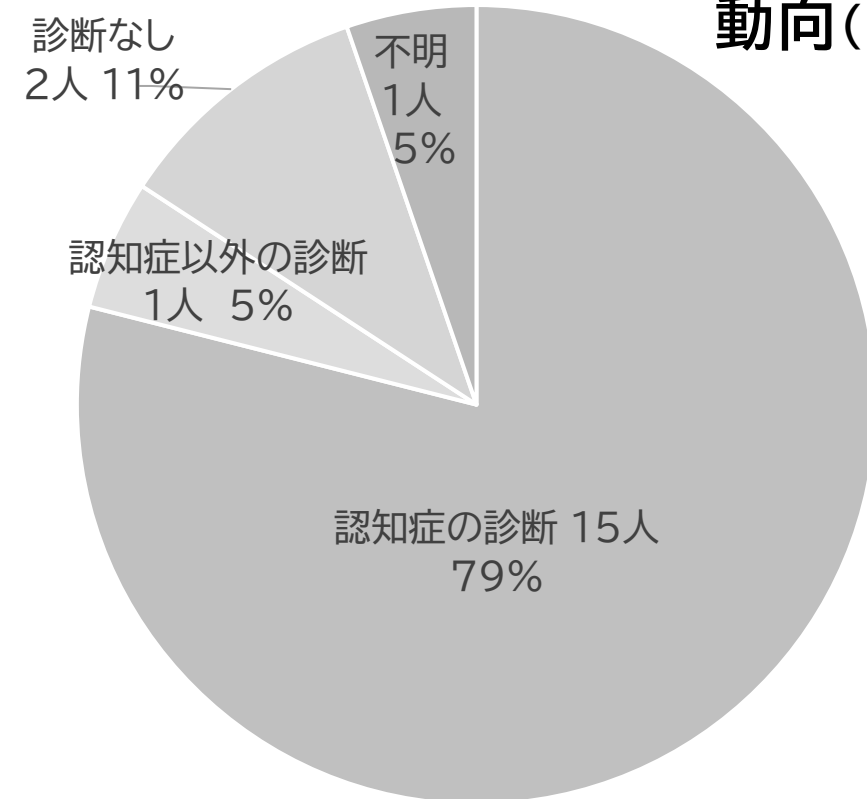
介入時医療機関受診なし・不明群の

動向(17名)



介入時認知症診断なし・不明群の

動向(19名)



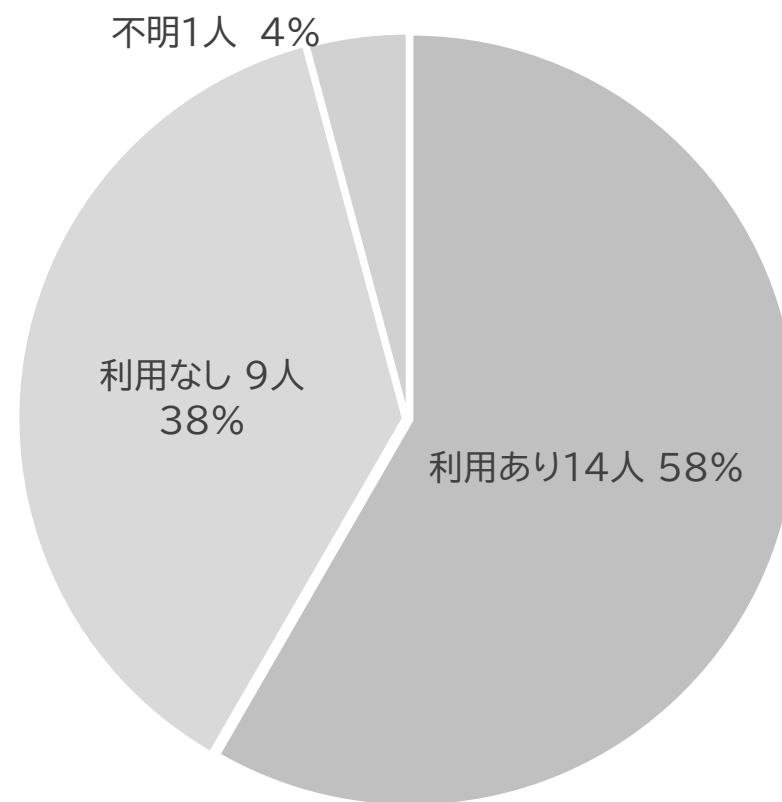
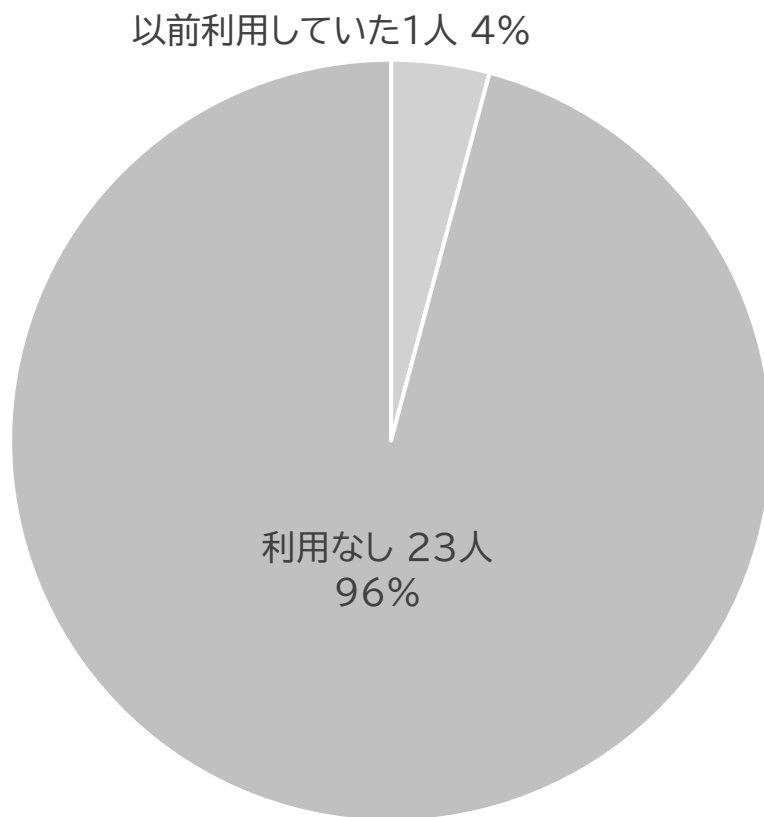
約80%が受診・認知症診断につながった

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

介入時 介護サービス利用



終了時 介護サービス利用

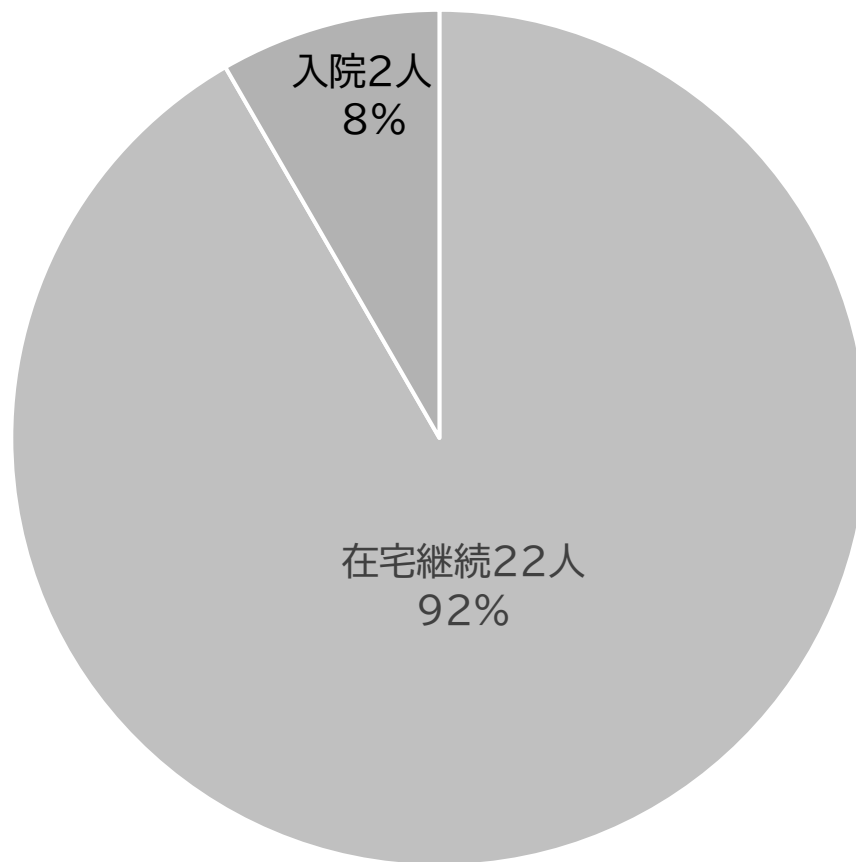


58%が利用ありへ

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

支援終了時の状況

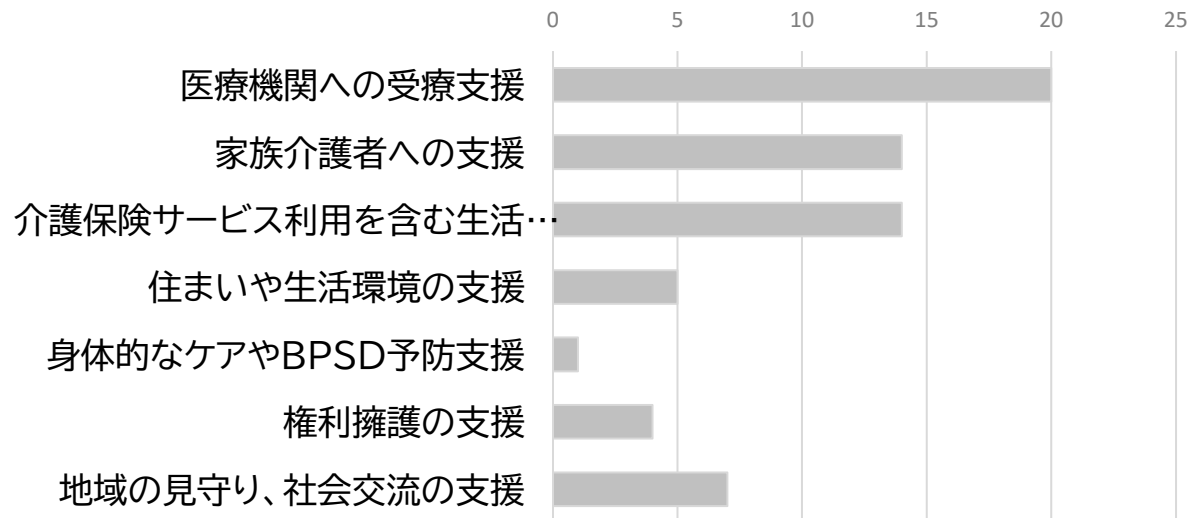
チーム支援により92%が在宅生活を維持できた



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

初期集中支援チームの支援状況(まとめ)

	延数	比率
医療機関への受療支援	20人	83%
家族介護者への支援	14人	58%
介護保険サービス利用を含む生活支援	14人	58%
住まいや生活環境の支援	5人	21%
身体的なケアやBPSD予防支援	1人	4%
権利擁護の支援	4人	17%
地域の見守り、社会交流の支援	7人	29%



一番多いのは
医療機関への受療支援。
次いで、家族への支援と
介護サービス利用への支援

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

【支援結果】

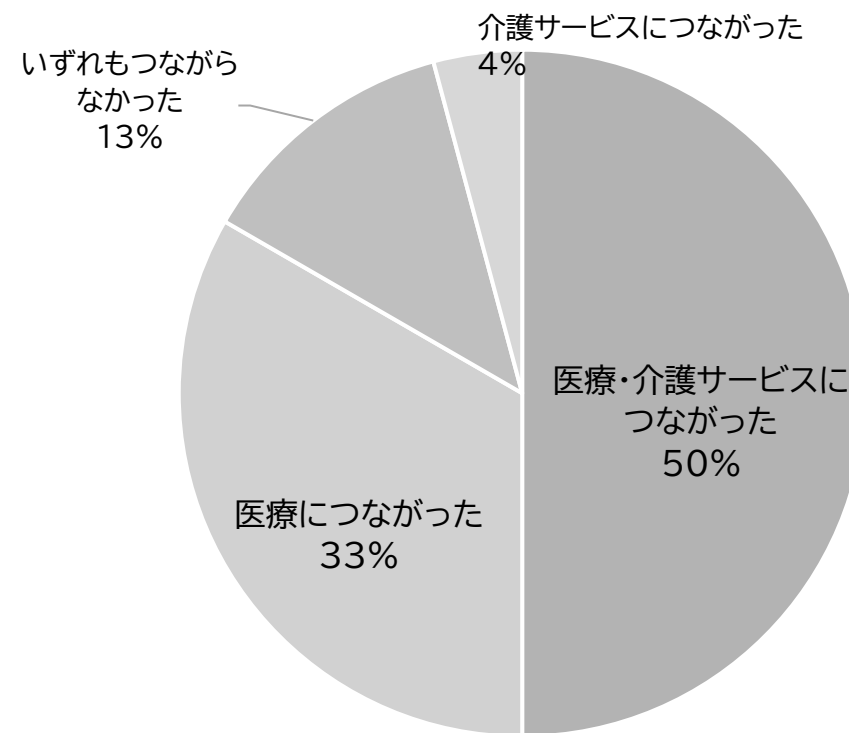
n=24

支援結果	男性	女性	計	比率
医療・介護サービスにつながった	2人	10人	12人	50%
医療につながった	3人	5人	8人	33%
いずれもつながらなかった	1人	2人	3人	13%
介護サービスにつながった	0人	1人	1人	4%
計	6人	18人	24人	

【引継ぎ状況】

n=24

	男性	女性	計	比率
在宅継続	6人	16人	22人	92%
入院	0人	2人	2人	8%
計	6人	18人	24人	



チームの介入により医療・介護サービス両方、
またはいずれかに繋がった方はや90%近い

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

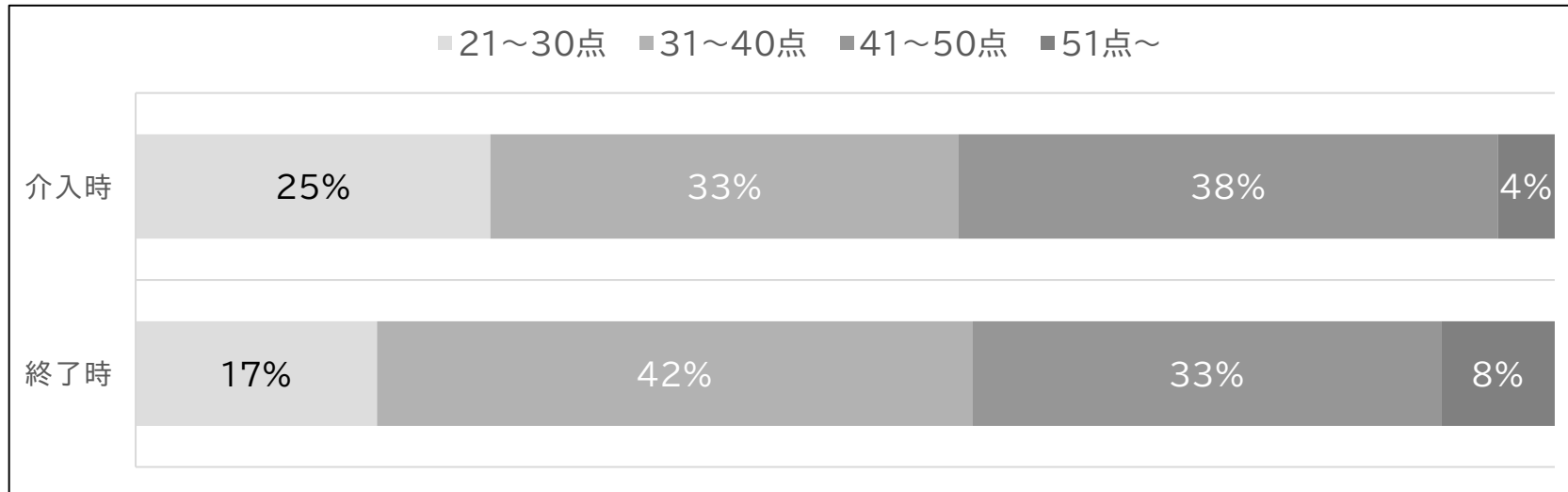
【介入後、医療介護サービスに結び付かなかったケースの要因】

①拒否(介入支援拒否、医療拒否)が強い 1名/24名

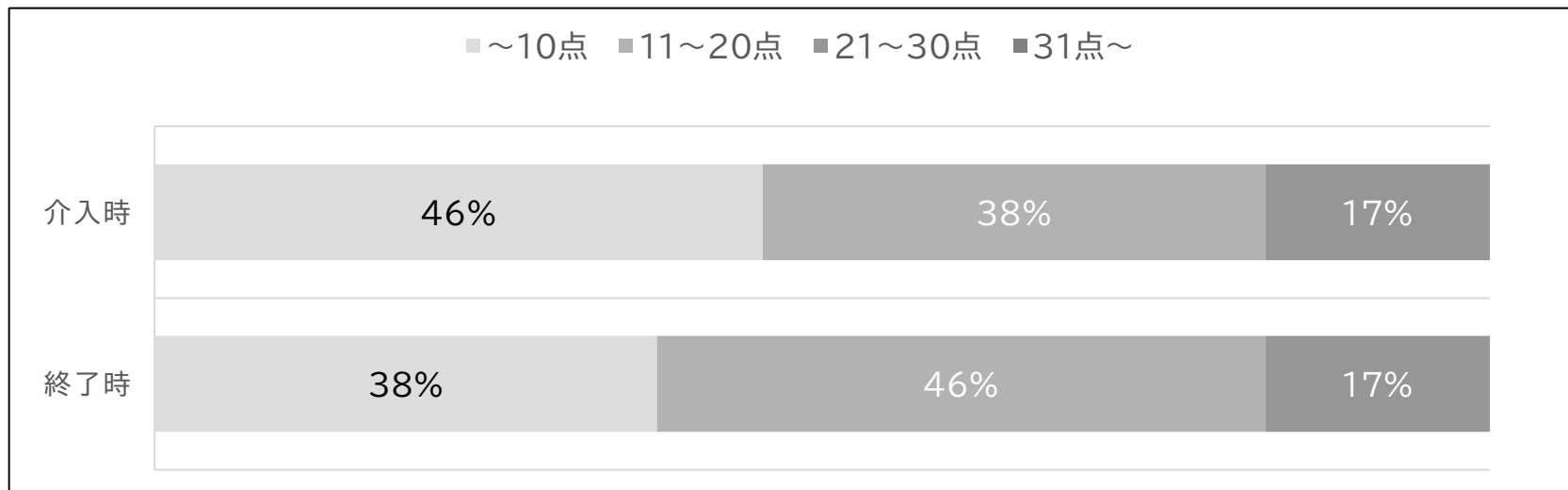
②本人の所在がつかめない 1名/24名

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

DASK



DBD13



市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

9)生活のしずらさの改善(第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の数値目標)

	男性	女性	計	比率
改善	2人	11人	13人	54%
維持	3人	4人	7人	29%
悪化	1人	1人	2人	8%
判定不可	0人	2人	2人	8%
計	6人	18人	24人	

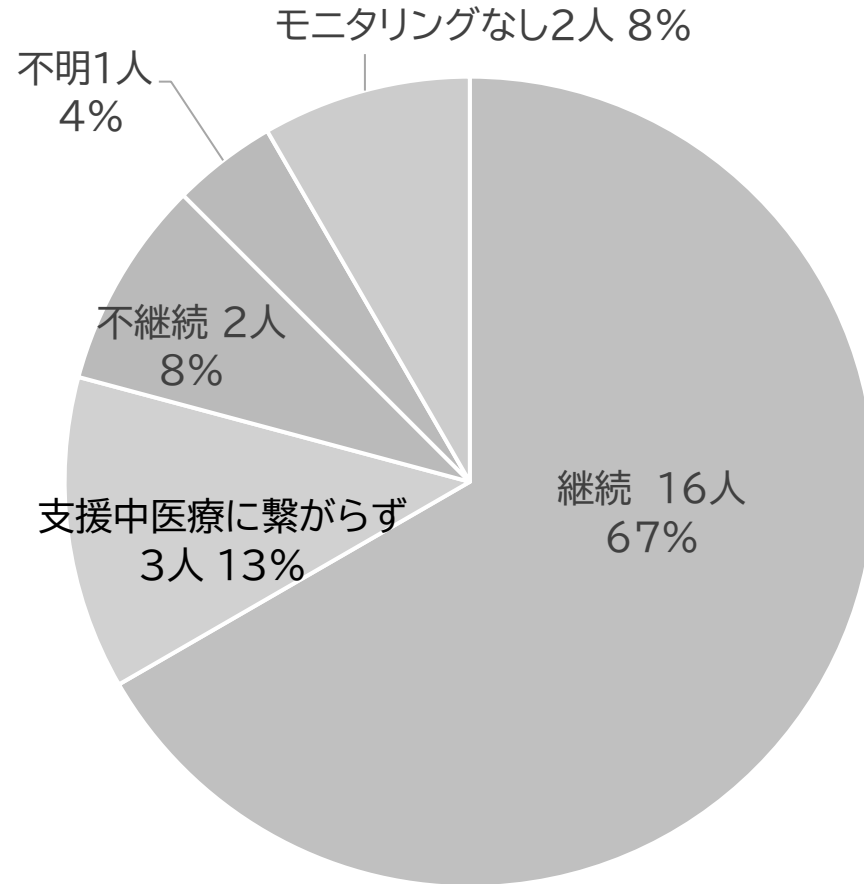
日常生活での、ADL・IADLを介入前後で評価。 チーム介入により、83%改善・維持できている

参考:生活のしずらさ評価項目

ADL	IADL	
食事	買い物	日々の生活の金銭管理
排泄	食事の支度	預貯金の出し入れ
入浴	食事の片付け	公共料金の支払い
着替え	掃除	書類の作成
身だしなみ	整理整頓	医療受診
	洗濯	服薬管理
	訪問者の対応	

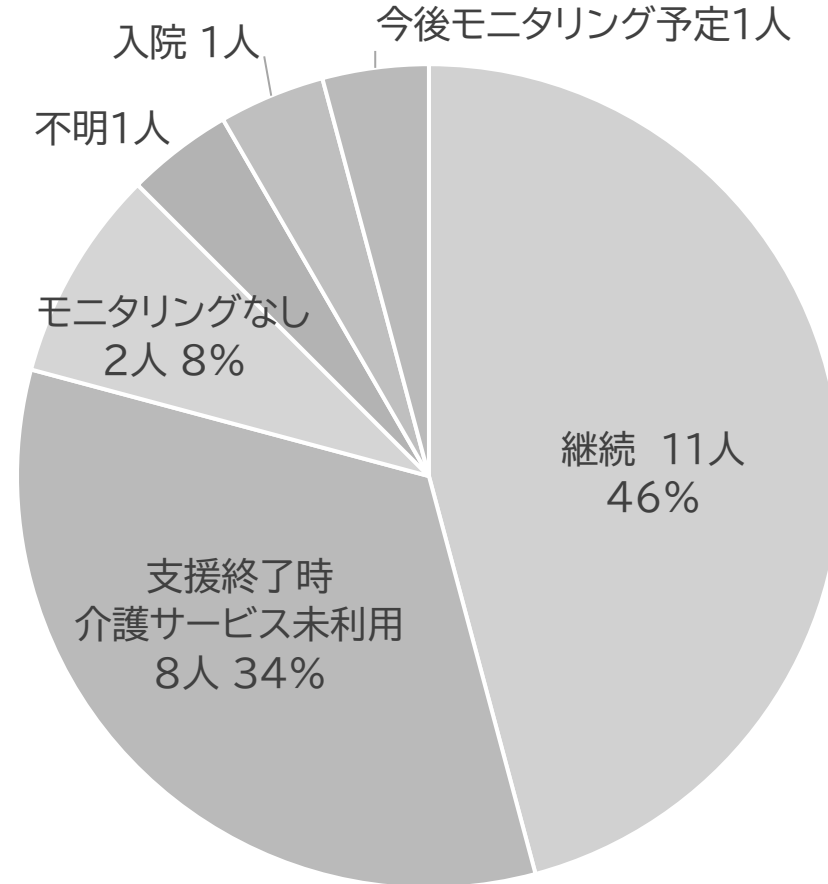
市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

モニタリング時医療の継続



67%医療継続

モニタリング時介護の継続

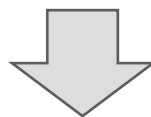


不継続は0%

市川市認知症初期集中支援チーム活動実績

チームにおける課題

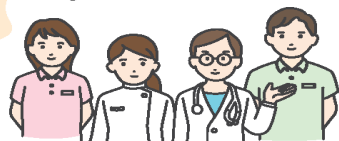
- 人事異動により職員の入れ替わりがあり、チーム員の入れ替わりが多い。
- 介入期間が決まっているため、高齢者サポートセンターとの連携・引継ぎが重要。
- 介護保険申請や後見人申し立てのためなど、認知症診断のための受療支援がチームの主活動となっている。



チームへ依頼が来る前の

早期の段階での相談体制づくりが必要

福祉・医療体制の整備



認知症初期集中支援チーム



かかりつけ医・薬局

いつまでも あんしんして 暮らせるまち

市川市は認知症に関する様々な取り組みを行っています。認知症になっても安心して暮らしていけるまちを目指し、自分や家族のこととして一緒に考えてみませんか？

仲間と出会い、思いを語る場



認知症本人ミーティング



認知症ピアサポート
(ピア=仲間)

まずは

高齢者サポート
センターまで
ご相談ください

認知症の
当事者同士で
支え合います！

広がる認知症サポーターの輪

認知症サポーター

認知症のことを正しく理解し
認知症の人や家族を
見守る応援者です。



講座



サポーターを養成する講座など
様々な取り組みが広がっています。

オレンジリングが
サポーターの目印！

認知症
地域支援推進員

認知症の方と
支援に関わる
様々なものとの
「つながり」を
深めていきます。

認知症の人にやさしいお店

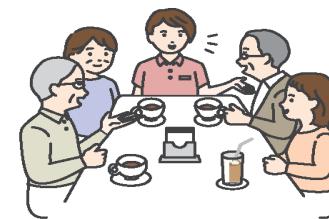


わかりやすい案内表示や
会計のお手伝いなど
安心して買い物ができる
お店が増えています。



このステッカーが
貼ってあるお店が目印！

みんな一緒に和み時間



誰でも参加
できます！

認知症の本人や家族、地域の人々が
誰でも気軽に集える認知症カフェなど
楽しい時間を過ごせる場が
広がっています。

ご清聴ありがとうございました。